

ヘルシーランド福島 施設紹介資料



1. はじめに -ヘルシーランド福島の持続可能な施設運営に向けて-

(1)施設の成り立ちと現状

ヘルシーランド福島は市民の健康増進を図るため、屋内プールや浴場、サウナ等を備える施設として平成3年に開設されました。開設後、30年以上が経過し、施設の老朽化に伴う不具合の増加や利用者数の伸び悩みなど、施設運営に関する課題を抱えています。

(2)福島市の公共施設の現状

福島市が管理している公共施設の70%以上が、建設後30年以上を経過しており、今後、施設の更新や改修には多額の費用がかかると予想されます。

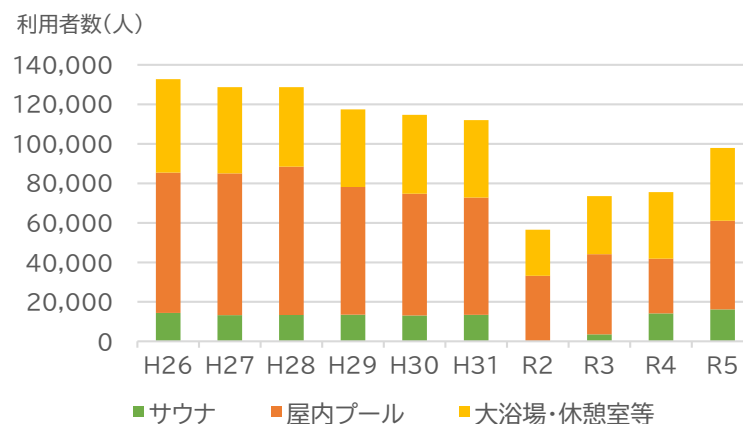
また、社会の変化により、公共施設に求められるサービスの内容や水準も変わってきており、施設の維持管理や運営についても、「官民の連携」や「デジタル化の促進」などを通じて、市民サービスの向上と施設運営の効率化を図る必要があります。

(3)サウンディング調査の実施について

今後、より良い市民サービスを提供し、施設運営を効率化していくために、民間事業者の皆様からのご意見、ご提案をお聴きしたく、サウンディング調査を実施いたします。皆様からいただいたご意見、ご提案を参考に、施設の維持管理運営方法、官民の連携手法等について検討していきます。どのようにすればより効果的に市民サービスを提供できるか、ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。



ヘルシーランド福島 利用者数の推移



2. 施設の概要

(1)施設名称

ヘルシーランド福島

(2)所在地

福島県福島市岡部字上川原26【福島市役所から車で5分】

(3)周辺環境

ヘルシーランド福島は、福島市の中心部からほど近く、阿武隈川のほとりに位置しています。

施設のすぐ近くには全長21kmにわたる阿武隈川サイクリングロードがあり、川沿いの美しい景観を楽しみながらサイクリングやランニングができます。

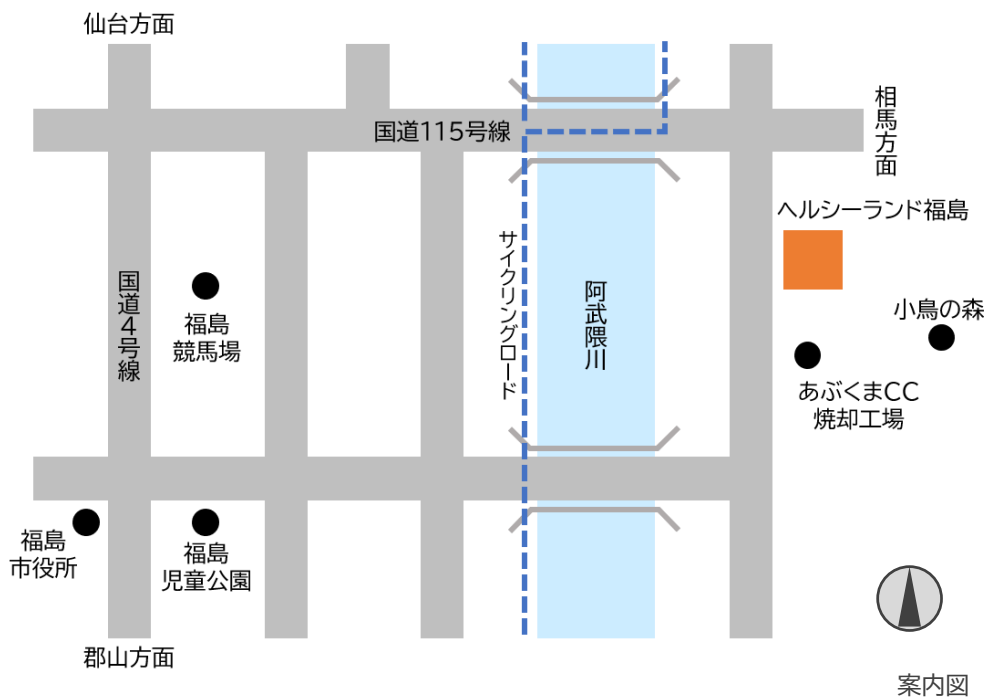
また、ヘルシーランド福島の近くには「小鳥の森」という自然観察スポットがあります。ここでは、様々な野鳥の観察ができ、自然の中でリラックスした時間を過ごすことができます。



小鳥の森ネイチャーセンター



阿武隈川サイクリングロード



案内図

2. 施設の概要

(4)敷地・建物について

- 都市計画 市街化調整区域、第三種風致地区
- 災害リスク 西側前面道路に過去浸水被害あり
(建物敷地は浸水想定区域の指定なし)
- 避難所指定 あり
- 駐車場台数 69台(現状)※
- 建築年次 平成3年(1991)
- 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
- 階数 2階建て
- 延床面積 3,773.3 m²
- 施設管理方針 長寿命化(福島市レクリエーション系施設個別計画)
- 主要機能 多目的集会施設(大浴場、休憩室)
屋内プール、サウナ室、研修室
- 施設の特徴 隣接するあぶくまクリーンセンター焼却工場から
ごみ焼却による余熱の供給を受けて、プールや
浴槽の加温、空調等の熱源に活用しています。



※新焼却工場整備後に駐車場を再整備する予定です。

3. 施設の運営状況

(1)現在の運営体制

- 施設管理方法 指定管理者制度による施設管理
- 指定管理者 公益財団法人 福島市振興公社
- 指定管理期間 令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日

(2)管理運営状況

- 年間開館日数 336日(令和5年実績)
- 休館日 毎月15日※1
- 開館時間 午前9時 ～ 午後8時※2
- 人員体制 常勤職員 5名 嘱託、パート職員等 9名

- ※1 15日が土・日曜日,国民の祝日にあたるときは開館し、その翌平日が休館日
年末年始(12月29日から1月3日)も開館
- ※2 屋内プール：午前10時から1日4回入替制 1回あたり2時間
大 浴 場：午前10時から午後4時まで
サ ウ ナ：午後1時から午後8時まで

(3)利用状況

(単位 利用者数:人、使用料:円)

区分	2021年度		2022年度		2023年度	
	利用者数	施設利用料	利用者数	施設利用料	利用者数	施設利用料
屋内プール	40,578	9,734,500	27,687	6,943,000	44,859	10,910,600
大浴場・休憩室	29,356	8,340,600	33,649	9,589,350	36,894	10,358,550
サウナ	3,582	1,791,000	14,186	7,093,000	16,182	8,031,500
合計	73,516	19,866,100	75,522	23,625,350	97,935	29,300,650

(4)施設使用料

(単位:円)

施設区分	利用料金			
屋内プール	個人	1人1回	一般	300円
			高校生	200円
			小・中学生	100円
	回数券 (6回分)		一般	1,500円
			高校生	1,000円
			小・中学生	500円
大浴場・休憩室等	個人	1人1回	一般・高校生	300円
			小・中学生	150円
	回数券 (12回分)		一般・高校生	3,000円
			小・中学生	1,500円
サウナ室	個人	1人1回		500円

※未就学児は無料(全施設)
※施設利用料については施設改修後、見直しを検討しています。

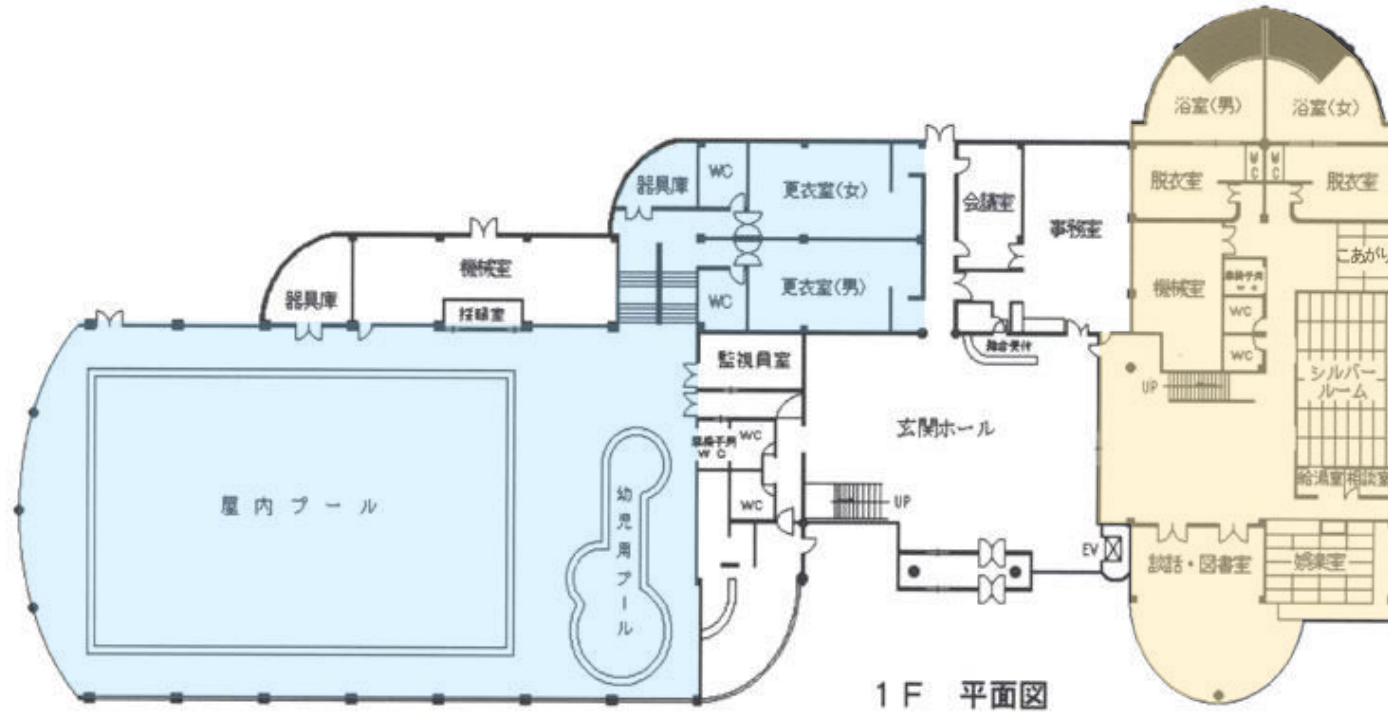
(5)収支状況

(単位:円)

区分		2021年度	2022年度	2023年度
収入	施設利用料	19,866,100	23,625,350	29,300,650
	その他	402,987	484,498	521,712
支出	指定管理者支出分	117,817,405	122,825,310	128,080,364
	市支出分	16,377,871	13,672,766	7,754,563
収入-支出		-113,926,189	-112,388,228	-106,012,565

※支出(指定管理者支出分):施設の維持管理運営に必要な経常的な経費
※支出(市支出分):経常的でない施設の改修等に要する経費、その他

4. 施設機能(1階平面図)



屋内プールエリア

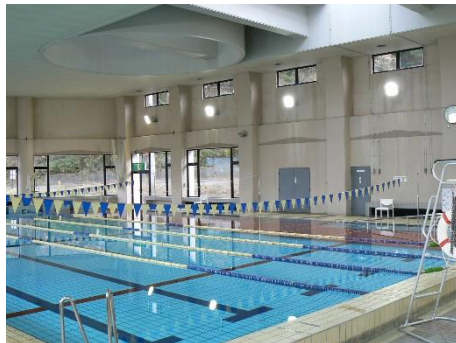
多目的集会施設(大浴場、休憩室等)



浴室(男)



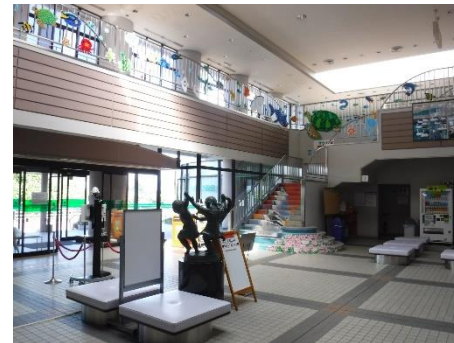
シルバールーム



屋内プール



幼児用プール

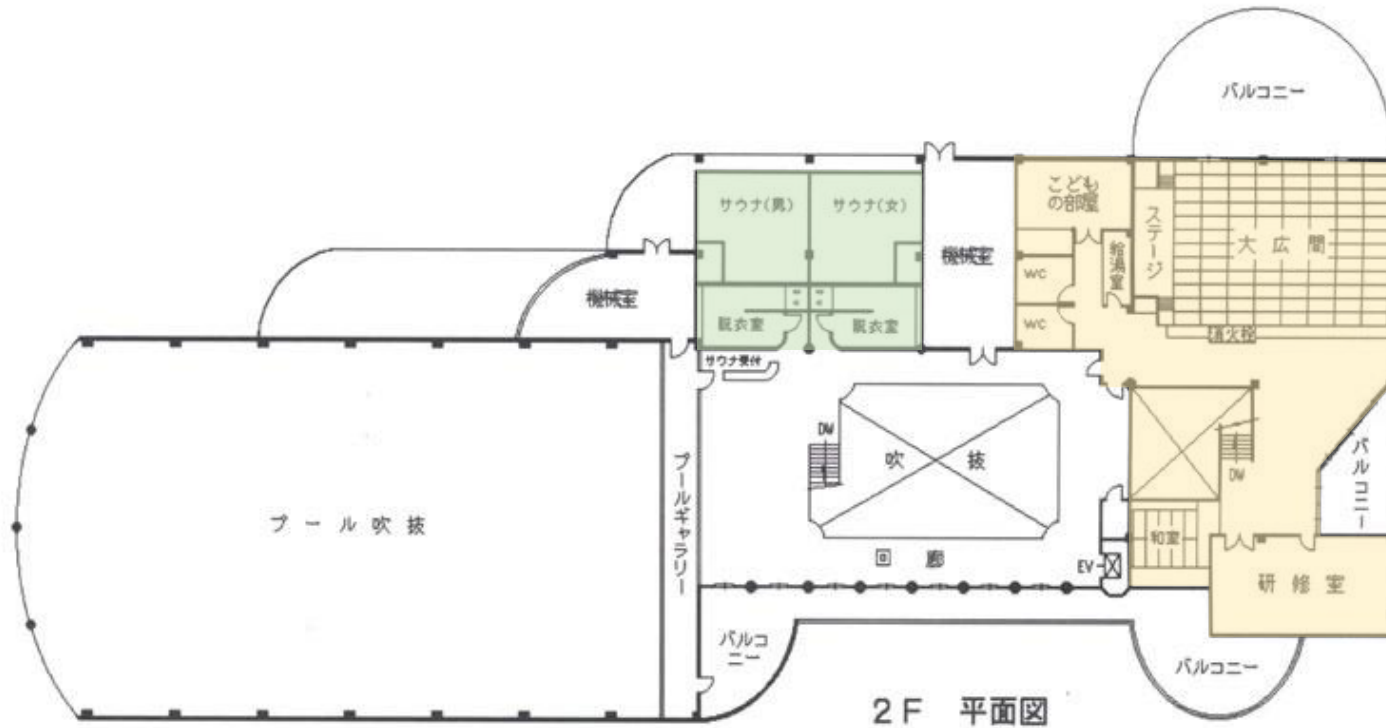


玄関ホール



談話・図書室

4. 施設機能(2階平面図)



サウナエリア

多目的集会施設(大浴場、休憩室等)



大広間



研修室



サウナ水風呂(男)



サウナ(男)



回廊



和室

5. あぶくまクリーンセンター焼却工場の再整備について

(1)再整備の概要

現在のあぶくまクリーンセンター焼却工場は昭和63年に稼働を開始しましたが、老朽化が進んでいるため、建替えの事業を進めております。
新焼却工場はヘルシーランド福島南側に建設され、同時にヘルシーランド福島の駐車場も整備される予定です。
新しい焼却工場は、令和10年4月に稼働する予定です。

(2)ヘルシーランド福島への余熱供給

ヘルシーランド福島では、焼却工場のごみ焼却によって発生する余熱を、プールや浴槽の加温、空調設備の熱源に活用しています。

新しい焼却工場の稼働後は、プールや浴室で使用する「温水」の他、施設内で利用する「電気」の供給を受ける予定であり、光熱水費等の削減効果が期待されます。

今後、供給を受ける温水や電気を利用するため、設備等の改修を予定しています。令和6年度から既存施設の調査や改修の基本設計を実施し、新しい焼却工場が稼働する令和10年4月に向け、改修工事を実施する予定です。



※今後の詳細設計にて意匠は変更となる可能性があります。

新焼却工場建設イメージ

6. 対話をお願いしたいこと

以下の内容について対話のご協力をお願いいたします。一部の項目についての対話も可能です。

(1)施設のポテンシャルについて

立地や周辺環境、施設が有する機能、設備などに関する施設運営の強みについて

(2)施設の現状、課題について

効率的な維持管理運営や市民サービス向上に向けた改善点や課題について

(3)独立採算による施設運営の可能性について

財政負担の軽減を目指した独立採算による施設運営の可能性について

(4)民間収益事業の実施可能性と想定される活用方法について

市民の健康増進や福祉の向上、レクリエーションの場の提供等に関する民間収益事業の実施可能性について

(5)施設の安全確保に向けた取り組みについて

屋内プール等の施設内での事故防止に向けた取り組みや必要な施設改修などについて

(6)民間事業者のノウハウを生かすための事業手法について

民間事業者のノウハウを最大限に生かすための事業手法、事業期間などについて